

## お知らせ

### 吉井川瀬戸地区自然再生協議会の開催について

～ 吉井川の河川環境の保全について考えます～

国土交通省岡山河川事務所では、吉井川(国管理区間)の中流域の良好な河川環境を保全するため、平成19年11月6日に「吉井川瀬戸地区自然再生協議会」を設立し、これまでに4回の協議会を開催しました。

これまでの協議会では、学識経験者、地元行政、地域住民の代表者の方々にお集まり頂き、特に生息環境として重要な、産卵場整備に関する議論をして頂きました。その中で頂いた御意見を参考に平成20年度に吉井川瀬戸地区において魚類の産卵場等の整備を実施しました。

5回目となる今回の協議会は下記のとおり行い、整備した産卵場等のモニタリング調査結果について確認していただき、その結果から今後どのように整備していけば良いかなどのご意見を頂き、今後の整備に活かしていきたいと考えています。

日時 : 平成21年10月29日(木) 15:00～17:00  
場所 : 岡山市水道局瀬戸出張所会議室  
岡山市東区瀬戸町瀬戸45

なお、会議開催の前に現地視察を行う予定です(14:00～)  
また、協議会の撮影は冒頭の挨拶まで可能とします



近年、吉井川本川や流入支川において、貴重な生物の生息環境が悪化してきており、国の天然記念物であるアユモドキなどの貴重な生物がこの数十年で激減しています。



#### 問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所  
電話番号 (086)223-5194(管理第一課直通)  
(担当) 副所長 佐藤 敦司(内線204)  
管理第一課長 長畑 利彦(内線331)

## 前回(平成21年2月26日)の協議会の様子



協議会メンバーによる現地視察



協議会(会議)での説明状況

## アユモドキとは？

日本固有種のドジョウ科の淡水魚  
琵琶湖淀川水系と岡山県内の河川にのみ生息  
幼期には体側に明瞭な暗色の横帯があるが、成魚になると不鮮明  
国の天然記念物(1977年)  
絶滅危惧 A類(環境省版レッドリストH19.8公表)



「絶滅危惧 A類」とは、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの